



# 『しまの宝』

第18号



文責：校長 日高 洋子 R3.12.20

## 2学期が終了です！

12月24日(金)は2学期の終業式です。小学生5名、中学生9名が大きなケガもなく、病気もせず、元気に終わることが出来ます。また、9月の久賀島民運動会を皮切りに、地域のみなさんと多くの交流を重ねることができました。11月の久賀っ子学習発表会には67名の参観者を迎え、子ども達の学習の成果を見ていただきました。発表会には、しま留学生の実親様にも来ていただきましたが、子ども達の成長に驚いていた様子でした。また、地域の方々の温かなまなざしに、「久賀に預けて良かった」とおっしゃっていました。

2学期は他校との交流も盛んに行いました。リモートでのやりとりも多くありましたが、実際に崎山小学校、崎山中学校、奈留小学校との陸上記録会など、相手校の校長先生をはじめ、先生方にはご配慮いただき、貴重な体験ができました。今度は、崎山小学校にも久賀にも来てほしいです。その時は久賀自慢をさせてもらいたいです。

この2学期は誰もが心に残るものになったと信じて、子ども達の頑張り、拍手を送るとともに、3学期へのエールを送りたいです。

## 文化面でも大活躍

これまでの俳句活動に加えて、「子ども県展」の入賞、「税の作文」の入賞、と立て続けに子ども達が活躍を見せています。俳句ではこの日の新聞掲載に中学生が一度に5人！

- 秀逸 **太陽と周辺歩く秋探し** 大櫛 優樹
- 佳作 **運動会ラストだ全部ぶつけてく** 狩野 潤奈
- 佳作 **台風後真っすぐ生きる彼岸花** 中野 紗菜
- 佳作 **ボール持ちはやる心に急がば回れ** 蛭間壽之亮
- 佳作 **飛行機雲山の端からのびる秋空に** 一ノ瀬 彩

別に日の新聞にも…

- 佳作 **星月夜誰も盗めぬ宝石展** 中野 紗菜

### ○佳作 あおきた **青北風**の窓から見える旗踊り

狩野 琉嘉

「あおきた」は雁が渡って行く初秋(9~10月)に吹く涼しい風のこと、秋の深まりの季語です。「あおきた」とも言うそうですが)雁が渡る風景は上州地方(群馬)でよく見られる光景だそうですが、私は恥ずかしながら、この俳句の季語を知らずに「あおきたなぜ?」と読んでいました。この句を詠んだ群馬県出身の琉嘉さんは、去年の社会科で群馬県での情景だと学習したことを覚えていて、使おうと思ったようです。いろいろな学習が俳句に生きています！

## 子ども県展でも頑張った!!

去年は版画での特選入賞がありましたが、今年は絵画やポスターで10名の特選・入選がありました。頑張りました！

- 【特選】越山福太郎(中1)・一ノ瀬 彩(中2)
- 【入選】安部 湊人(小3)・三上 覚(小4)
- 小池 碧(小5)・狩野 琉嘉(中1)
- 白水 南帆(中2)・中野 紗菜(中3)
- 狩野 潤奈(中3)・蛭間壽之亮(中3)

久賀っ子学習発表会での展示では、実際の絵画を「子ども県展」に応募していたため、来場されていた方には写真でご覧いただいていた。県展の入賞が10名とは驚きです。去年は1名でした。指導している中学校の浦川教頭(美術)が熱心に指導していますが、それに見事に応えた結果となりました。(左：福太郎さん 右：彩さん)



## 卓球新人大会にて

中学生卓球競技新人大会が久賀中学校の体育館で実施されました。五島市内の中学校には本校以外に、新人大会のエントリーがなかったため、男女とも決勝戦が同校対決となりました。

新型コロナウイルス感染症の予防対策で、9月～10月の半ばまで思うような練習ができませんでした。そのため、自分たちの力がどの程度定着しているのか、わからないままの試合となり、緊張している様子でした。それでも、最後まで諦めない様子や、マナーを守って頑張る姿に感動でした。結果は男子優勝が細川優樹さん、女子が白水南帆さんでした。12月19日(日)には協会長杯にも参加し、3年生や一般の方の試合を見て勉強になったようでした。



女子の決勝はファイナルまでもつれ込んで、緊迫の試合となりました。ボールが落ちるたびに、会場中に観戦している私たちの大きな「ふーっ」というため息が聞こえるほどでした。



男子の試合も一進一退で、会場がシーンとなる中、ボールを打つ音と2人の「ありがとうございます!」「さあ!!」というかけ声だけが響いていました。今年から、卓球を始めた2人ですが、体力も技術も少しずつ身に付き、来年度の中総体が楽しみになりました。

## 児童生徒会役員選出

来年1月から活動が開始する児童生徒会の三役が決定しました。本校は児童生徒数が少ないため、会長・副会長・書記に立候補した児童生徒をその役にふさわしいか公約を聞いた後、みんなで承認します。今回、会長に一ノ瀬彩さん、副会長に白水南帆さん、書記に狩野琉嘉さんが立候補してくれました。久賀小中学校を良い学校に!」誰もがそんな思いで、手を挙げました。頼もしい限りです。満場一致で承認され、みんな笑顔です。また、学習専門委員長に越山福太郎さん、生活委員長に細川優樹さんが立候補し、同じく承認されました。「彩さんを中心に、久賀小中学校がこれまでに以上に「あいさつが飛び交う学校」「何でも積極的に頑張れる学校」「いじめのない学校」「みんな仲が良い学校」を目指し活躍してくれることでしょう。頑張れ、新児童生徒会!



## 書き初め大会と帰省について

◎12月24日(金)に終業式がありその後から学校は冬休みに入り、始業式は1月11日になります。3学期は最も短い学期ですが、子ども達にとっては、学年を締めくくる大事な学期となります。また、3年生は、受験の追い込み時期でもあり、早速11日、12日には実力テストがあります。そのような中、1月17日には例年行っている書き初め大会を予定しています。体育館に一人一枚ずつの畳を敷いて、その上で心を込めて文字を書きます。その真剣なまなざしは、必見の価値があると思います。是非、体育館を覗いていただきたいと思います。(時間 14:00~16:00)

◎この冬休みには、しま留学の児童生徒のほとんどが帰省をします。帰省先では、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、マスクの着用、手洗い、消毒、初詣などの時間を考慮するなど、十分に気を付けながら1月8日~10日の間に全員が帰島します。